

『基礎・基本の定着と本校の実践例』  
～独自のテストとマナトレによる基礎の定着～

宮崎県立富島高等学校 甲斐 暁大 他3名

1. はじめに

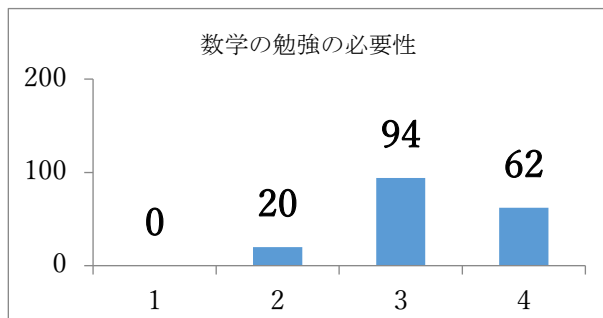
本校は日向市に位置する全日制と定時制の専門高校である。商業・家庭科に関する5つの専門学科を有し、本年度で104年目を迎える。「頭」を鍛え伸ばす、「心」を鍛え育てる、「体」を鍛え伸ばすという本校の教育目標の下、数学科としても学力向上に向け取り組んでいる。卒業後の進路は進学6割、就職4割である。

2. 主題設定の理由

1年生を対象に数学に対するアンケートを実施した。

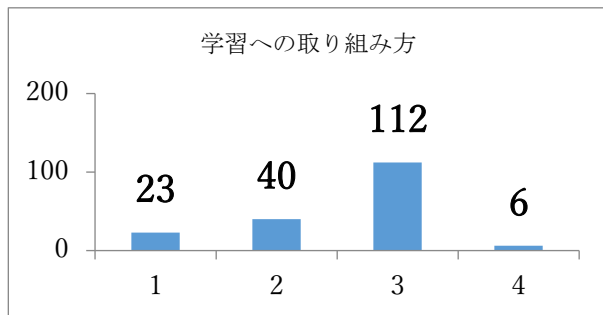
アンケート①「数学を勉強する必要があると思いますか」

1. 必要はない。 2. あまり必要ではない。  
3. まあまあ必要である。 4. 必要である。



アンケート②「普段の学習（授業を除く）への取り組み方に最も近いものを1つ選んでください。」

1. ほとんど学習しない。  
2. その日の気分によってゆったりやらなかったりする。  
3. 学校で出された宿題はできるだけやる。  
4. 毎日ほぼ決まった時間に机に向かい、学習している。



本校の現状と課題として、以下のものが挙げられる。

- (1) 数学の勉強が必要と考えているが、宿題以外の学

習を行う生徒がほとんどいない。

(2) 義務教育段階の基礎的な学力（四則演算等）が身につけていない。

(3) 学級内の学力差が大きい。

生徒一人一人に基礎基本の学習内容を定着させるためには、日々の学習活動に改善に向けた具体的な方策を取り入れる必要があると考え、本主題を設定した。

3. 仮説

(1) 授業で取り扱う内容を教科会等で精選し、義務教育内容についても課題を計画的に与え、授業中に確認する時間を取り入れていくことで、家庭での学習習慣と基礎学力が身につけていくのではないかと。

(2) 習熟度別に授業を行い、教材、教授方法の工夫をすることで学力差に対応しやすくなるのではないかと。

(3) 定期的に義務教育範囲のテストを行うことで、自分自身の基礎学力の定着度を確認できるのではないかと。

4. 研究の実際

仮説に基づき、本校では以下の実践を行った。

(1) 日々の課題として「マナトレ (Benesse)」を活用し、学習の習慣化と基礎力定着への取り組みを行う。

(2) 定期的に基礎学力を測るテストを実施する。

(3) 教材の精選と工夫を行い、課題の質問を受け付ける時間と課題の反省を行う時間を取り入れる。

(4) 習熟度別・少人数体制での授業を実施する。

5. 研究の成果と今後の課題

各学期実施の基礎力テストの結果が以下の通りである。

(3学期は新型コロナウイルスの影響で未実施)

分野	整数	小数	分数	百分率	割合	単位	食塩水	果乗	円扇形	方程式
1学期 得点率	83.3%	61.0%	78.6%	39.6%	55.4%	71.8%	55.9%	68.8%	38.1%	73.2%
2学期 得点率	86.9%	77.5%	82.2%	87.1%	75.0%	78.7%	68.7%	68.2%	62.7%	73.1%
伸び率	3.6%	16.5%	3.6%	47.5%	19.6%	6.9%	12.8%	-0.6%	24.6%	-0.1%

分野によって伸び幅に差はあるが、基礎力の定着に少しずつ効果が出ているように考える。

今後の課題は、基礎分野を取り扱う時間の確保と基礎学力が定着している上位層を伸ばすための工夫であると考える。今後も継続して教材研究に努めていきたい。